

サーマルプリンタ

FP-410

オートカッタ清掃手順書


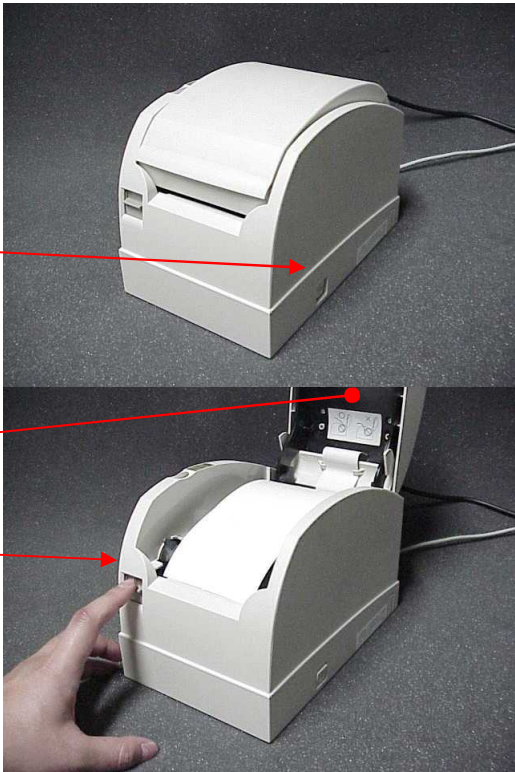


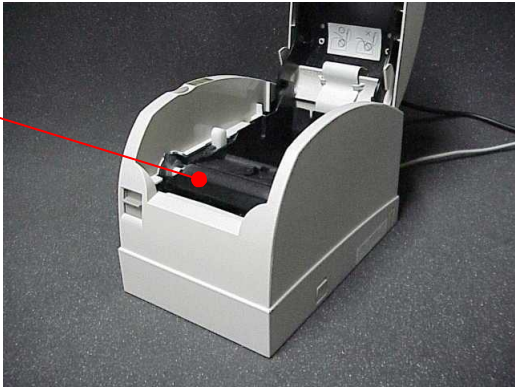
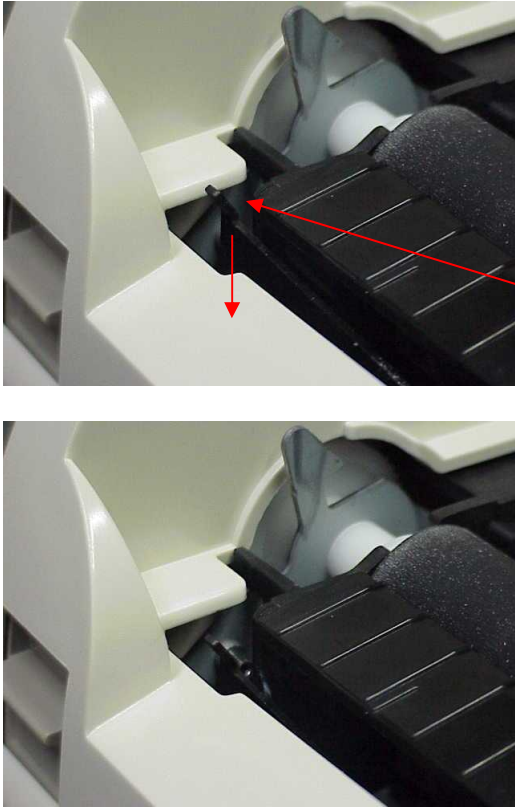
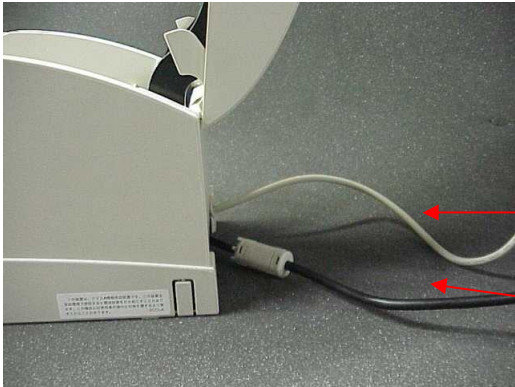
富士通アイソテック(株)

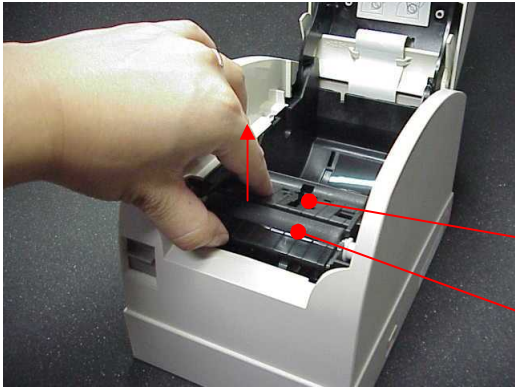
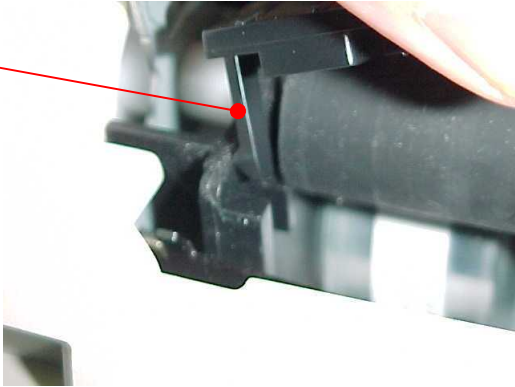
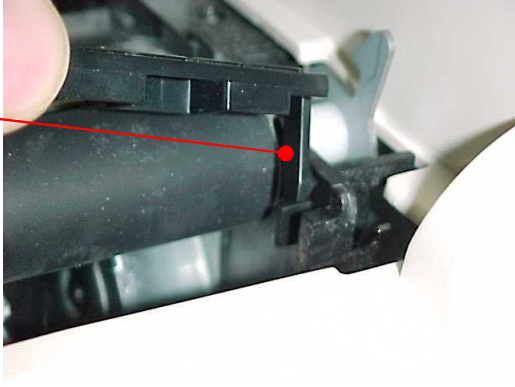
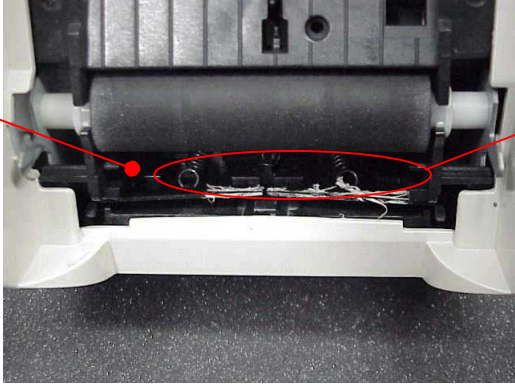
【注意】

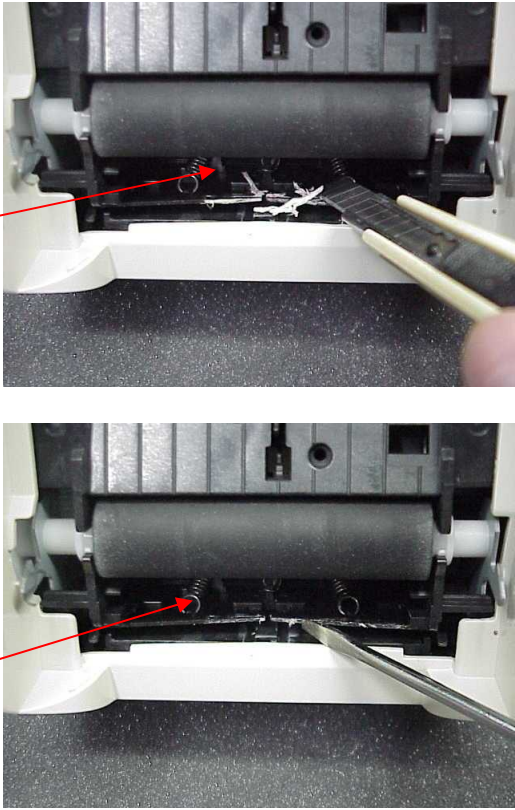
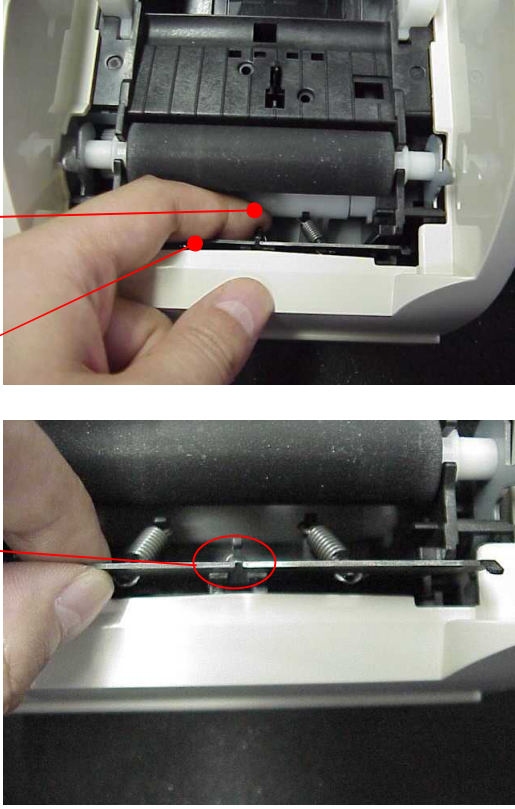
清掃作業を行う際に、以下の点に十分に注意してください。

1. カッタやカバーの突起に手や指をぶついたり、擦ったりしないでください。怪我や破損の要因となります。
2. クリーニングシートには、揮発性成分が含まれていますので、換気の良い場所で作業してください。
3. カッタを清掃する位置に動かした後、清掃作業前に AC アダプタケーブル、インターフェースケーブルが取り外されていることを必ず確認してください。
4. 工具(ドライバ、カッターナイフ)を使用する際に、手や指に触れないように注意してください。
また、工具類をプリンタの部品に強く押し付けたり叩いたりしないでください。破損の原因となります。
5. プリンタの部品(特にサーマルヘッド)は、精密部品で構成されています。必要以外の部品には絶対に触れないようにしてください。動作不良や印字不良の原因になります。

項	内容	作業	説明写真	備考
1	清掃準備	<p>・マイナドライバー(小) ・カッターナイフ等</p> <p>・POS サーマルプリンタ クリーニングシート (商品番号:0631260)</p>	 <p>The image shows a blue-handled screwdriver, a utility knife, and a white packet of AlcoPad 806 cleaning sheets. The packet is labeled '806 Formerly TSD06', 'AlcoPad', 'Print Element and Electronic Component Cleaner', and 'CleanTex'.</p>	<p>注記 カッターナイフ等の取扱には十分注意してください。 机・プリンタに傷が付くのを防ぐため、ナイロンのシートやダンボール等を敷いて作業することをお勧めします。</p> <p>注記 火気が無く換気の良い所で作業を行ってください。</p>
2	プリンタの準備	<p>1)パワースイッチを OFF にします。 2)カバーオープンレバーを下げてトップカバーを開けます。 3)用紙を取り出します。</p> <p>パワースイッチ</p> <p>トップカバー</p> <p>カバーオープンレバー</p>	 <p>The image shows a white thermal printer. The top cover is open. Red arrows point from labels to the power switch on the front, the top cover, and the cover open lever on the side.</p>	

項	内容	作業	説明写真	備考
3	アッパー-カッタ 清掃	アッパー-カッタ		
3-1	アッパー-カッタを下げます。	<p>1)トップカバーを開けた状態でパワースイッチを ON にするとアッパー-カッタが下がります。</p> <p>2)パワースイッチを OFF にします。</p>	 <p style="text-align: center;">アッパー-カッタが下がった状態</p>	<p>注記 <u>始めからアッパー-カッタが下がった位置の場合は下がりにません。</u></p> <p style="text-align: right;">アッパー-カッタ</p>
3-2	ケーブルを外します。	AC アダプタケーブルを外します。 インターフェースケーブルを外します。		<p>注記 <u>AC アダプタケーブル・インターフェースケーブルは必ず外してください。</u></p> <p style="text-align: right;">インターフェースケーブル</p> <p style="text-align: right;">AC アダプタケーブル</p>

項	内容	作業	説明写真	備考
3-3	ペーパーガイドを外します。	ペーパーガイドを上引き上げて左右のロック爪を外します。	  	<p>注記 プラテンロールには傷を付けないでください。 印字欠けやカスレの原因になります。</p> <p>プラテンロール</p> <p>ペーパーガイド</p>
3-4	アッパーカッタに体積した粘着物が確認できます。			<p>アッパーカッタ</p> <p>粘着物</p>

項	内容	作業	説明写真	備考
3-5	粘着物を除去します。	<p>アップカッタの内側面とエッジに体積した粘着物をカッターナイフまたはマイケストライバ等で寄せて取り去ります。</p> <p>内側面</p> <p>エッジ</p>		<p>注記 <u>プラテンロールには傷・へこみを付けないでください。</u> <u>印字欠けやカスレの原因になります。</u> <u>カッターナイフの取扱には十分注意してください。</u> <u>怪我の原因になります。</u></p> <p>警告!! <u>アップカッタのエッジに触れないでください。</u> <u>特に指を押し付けて擦ると怪我の原因になります。</u></p> <p>注記 <u>マイケストライバでアップカッタのエッジを傷つけないように注意してください。</u> <u>(用紙を切断できなくなる場合があります。)</u></p>
3-6	アップカッタを引き出します。	<p>アップカッタのへ-スに指を掛け、プリンタカバーにアップカッタへ-スが接触して止まるまで上に引き上げます。</p> <p>アップカッタのへ-ス</p> <p>プリンタカバー</p> <p>接触して止まります。</p>		<p>警告!! <u>アップカッタのエッジに触れないでください。</u> <u>特に指を押し付けて擦ると怪我の原因になります。</u></p> <p>注記 <u>プリンタカバーにアップカッタのへ-スが接触して止まった位置以上に引き上げないでください。</u> <u>無理に引き上げるとスプリングが伸びてしまい用紙カットができなくなります。</u> <u>また、アップカッタはゆっくり引き上げてスプリングが外れない様に注意してください。</u> <u>アップカッタへ-スを引いても、引き上げられず動かない場合は項3-1を再度行ってください。</u></p>

項	内容	作業	説明写真	備考
3-7	粘着剤を拭き取ります。	アッパーカッタを引き出し指でつまみながら、アッパーカッタに残った粘着剤をPOSサーマルプリンタクリーニングシートで拭き取ります。		<p>警告!! <u>アッパーカッタのエッジに触れないでください。</u> <u>特に指を押し付けて擦ると怪我の原因になります。</u></p>
3-8	ペーパーガイドを取り付けます。	<p>ペーパーガイドに刻印された溝が左側になるように、外したときの逆手順でペーパーガイドを取り付けます。</p> <div data-bbox="400 913 625 983" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">刻印</div> 		<p>注記 <u>ペーパーガイドが正常に取り付けられると、押し込んだ際にパチンと音がします。</u> <u>取り付け後は、浮きがないことを確認してください。</u></p>
4	アッパーカッタ清掃	<div data-bbox="400 1261 635 1328" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">アッパーカッタ</div> 		
4-1	アッパーカッタに体積した粘着物が確認できます。	<div data-bbox="400 1715 625 1783" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">アッパーカッタ</div> 		<div data-bbox="1278 1715 1469 1783" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">粘着物</div>

項	内容	作業	説明写真	備考
4-2	粘着物を除去します。	<p>ロアクタの表面とエッジに体積した粘着物をカッターナイフまたはマイケストライバ等で寄せて取り去ります。</p> <p>サーマルヘッド</p> <p>ヘッドフレーム</p> <p>ヘッドフレームに付着した粘着物をマイケストライバの先端等で取り除きます。</p>		<p>注記 サーマルヘッドに、カッターナイフやドライバなどの堅牢物を絶対に当てないでください。破損して印字できなくなる場合があります。</p> <p>表面</p> <p>エッジ</p> <p>警告!! ロアクタのエッジに触れないでください。特に指を押し付けて擦ると怪我の原因になります。</p> <p>注記 マイケストライバでロアクタのエッジを傷付けないように注意してください。(傷つけると用紙を切断できなくなる場合があります。)</p>
4-3	粘着剤を拭き取ります。	ロアクタに残った粘着剤をPOS サーマルプリンタクリーニングシートで拭き取ります。		<p>注記 サーマルヘッドは破損しやすい部品ですので傷を付けないように十分注意してください。拭き取った粘着物をサーマルヘッドに付けないでください。(印字不良の原因になります。)</p> <p>警告!! ロアクタのエッジに触れないでください。特に指を押し付けて擦ると怪我の原因になります。</p>
5	清掃終了	AC アダプタケーブル、インタフェースケーブルを接続し、用紙をセットします。	ケーブルの接続・用紙セットの詳細については取扱説明書を参照してください。	
6	動作確認	テスト印字を行ってオートカットと印字の確認を行います。	テスト印字の詳細については取扱説明書を参照してください。	